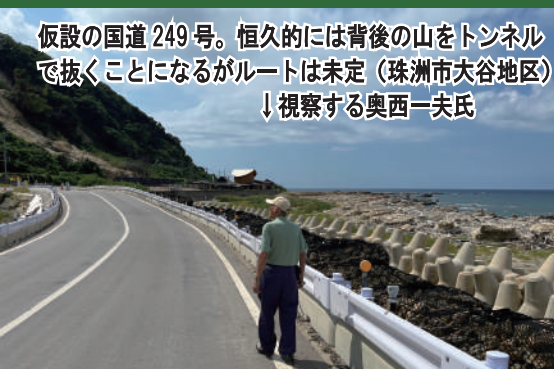


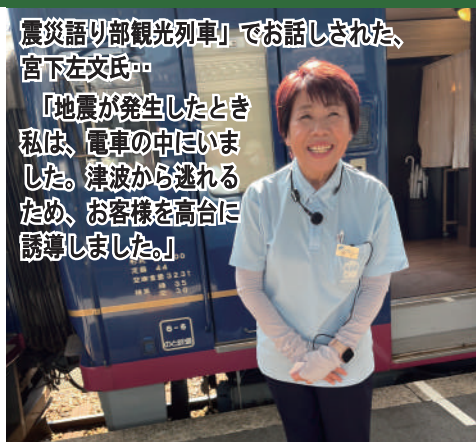
能登震災復興、次のフェーズへ～ 能登実地研修報告と 今後に向けてのディスカッション



仮設の国道 249 号。恒久的には背後の山をトンネルで抜くことになるがルートは未定（珠洲市大谷地区）
↓視察する奥西一夫氏

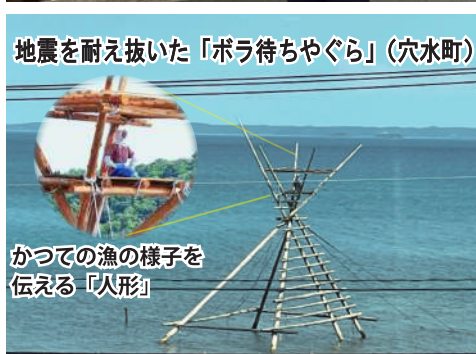


山間の盆地に位置する龍昌寺を含む集落と農園（輪島市三井町）



震災語り部観光列車」でお話しされた、宮下左文氏…

「地震が発生したとき私は、電車の中にいました。津波から逃れるため、お客様を高台に誘導しました。」



地震を耐え抜いた「ボラ待ちやぐら」（穴水町）

かつての漁の様子を伝える「人形」



珠洲市大谷地区「外浦の未来をつくる会」のみなさんと懇談



ボランティア活動（珠洲市大谷地区）

参加費無料

2025 年 10 月 25 日(土) 午後 2 時～ 4 時 (開場：1 時 30 分)

福井県教育センター 4F ホール &  zoom  YouTube Live

- 話題提供者・大豊英則（国土問題研究会）「研修報告―被災地マネジメントを担う 2 つの団体が進める、新たな復興の展開と課題」
- ・・ 高校生（17 歳）「のと鉄道震災語り部列車乗車記」

- ディスカッション・日本科学者会議（JSA）の「能登研」^注が 8 月 30～31 日に行った能登半島地震被災地視察は、現地で活動する人を訪ねる「ひとつの」試みですが、この間に支援活動や視察のため能登を訪れた人はたくさんおられます。そこでの経験や見えてきた課題を持ち寄り、復興後を見越した地域づくりについて、討論したいと思います。ファシリテーターは小野一 JSA 福井支部幹事（「能登研」代表者・工学院大学教授）。

- オンライン（Zoom）参加を希望の方は、右の QR コードか、下記のサイトより登録をお願いします。（YouTube 配信もあります）
<https://us06web.zoom.us/meeting/register/PrTDIVfCTgawqeZRQfhCRA>



注）「能登研」＝「人口流出社会における災害復興と地域の未来像～「能登半島地震」以後を考える学際研究」

主催：日本科学者会議福井支部 連絡先：山本雅彦 masahiko@mbp.nifty.com（携帯 090-4323-4199）

カンパのお願い：郵便振替口座番号 00710-9-17967 日本科学者会議福井支部

HP：<https://jsafukui.net/>

（2025 年 10 月発行）